

第19回 波止場てつがくカフェ ウソ (fake)はどこから！？ ～つくり話・冗談、虚偽について～

「議論の前提が崩れてしまう」

「話し合いの土台そのものを破壊するに等しい」

「民主主義」とまで言わなくとも、ウソをつかないということは、社会において万人が備えるべき「倫理」として存在していると言えるでしょう。

一方、それを単に「つくり話」と言ったら、どうでしょうか。

小説に詩歌、絵画や音楽。およそアートやカルチャーというものは一切、「想像力」の産物と言えます。

また、さらに身近なところでも。日常のコミュニケーションにおいて「冗談」は、大変重要な役割を果たしていると言えるでしょう。

真剣な話しが全く出来ないというのも困ったものですが、ジョークのひとつも許されないという環境は、私たちの言動を大変窮屈なものとしてしまうのではないのでしょうか？

虚偽をかたることが「罪」として厳しく禁止される一方で、「事実ではない」ということを前提にそれを楽しむことにもまた、大変重要な役割が与えられる。

一体私たちににとって、<ウソ>とはどのようなものなのでしょう？

もちろん、「虚偽」と「冗談」は別のもの。特に権力の座にある者が、自分達の都合に合わせて事実を捏造するという事は、許されないことだと思います。

しかし少なくとも、それらは人の心の中に留まる限りでは、同じ源泉をもっている…とは言えないのでしょうか？

一体<ウソ>と「つくり話」や「冗談」は、どのように違うものなのでしょう？

<ウソ>が国家的危機として語られている現在。

<ウソ>とはそもそもどのようなことなのか、考えてみたいと思います。

■日時：4月21日（土）14時～

■場所：カフェ・エクレシア蔵前店（東京都台東区蔵前2-7-6）

※日本聖公会浅草聖ヨハネ教会併設

<https://ja-jp.facebook.com/CafeEcclesiaKuramae>

※会場入り口には段差が存在しますが、あいにく昇降機などの設備はございません。入場にご不安を感じる方は、その旨お申し出頂ければ、可能な限りの対応をさせていただきます。

※会場内には洋式のトイレがございますが、車椅子が入るほどの広さはありません。16時までは、隣接の日本聖公会浅草聖ヨハネ教会のバリア・フリー対応トイレがご利用頂けます。

■参加費：500円（ワンドリンク込み）

■申し込み：不要

※おおまかな人数を把握したいので事前にご連絡頂けると助かります

■問合せ先：波止場てつがくカフェ

hatoba.de.dialogue@gmail.com

twitter: @hatoba_dialogue

web: hatoba-de-dialogue.net